

令和6年度

加茂小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 教師の授業力の向上(学校力向上サポート事業(三加茂中連携))

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
森長 拓哉	校長 真鍋 憲人 教頭 石丸 秀樹 教務主任 曾我部 さち 研修主任 濱本 泰代

校長

真鍋 憲人

【各校の取組状況の把握について】

学力向上検討委員会での取組状況報告, 教員相互や管理職の授業参観, 授業研究会での検討, 学力学習状況調査・学力調査・アンケートでの定着度把握

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業態度が良い。 ●基礎的・基本的な知識・技能を身につけることが課題である児童が多い。 (漢字・計算)	・学年相応の学力を身につけ、活用することができる。	・教員の授業力を向上させ、どの子にも分かりやすい授業づくりをめざす。 ・隙間時間や授業のはじめに小テスト、反復練習。(ICTの活用推進)			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表する意欲が高く、友達の前で自分の意見を伝えようとする姿が多く見られる。 ●自分の考えを表現するときに、理由づけをして、最後まで伝えることを苦手としている。 ●自分の考えを文章にすることや、読解力に課題がある。	・他者の考えを聞き、自分の意思を示したり、反応したりすることで、自分の思いや考えをまとめることができる。	・ICTの思考ツールを活用した授業づくりの推進。 ・発達段階に応じた発表の仕方を定着させ、意見交換や意見交流を充実させられるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習準備を整え、聞くことのルールを意識して、学習に取り組もうとしている。 ●自ら進んで考え、新たな課題を見つけ、解決しようすることに課題がある。	・自分の考えをもち、他者との交流を通して、学ぶことの楽しさに気づき、協力的に解決しようとする態度を身につける。	・体験的な学習を積極的に取り入れていく。 ・認め合える関係性を築き、楽しんで学べる学級づくり。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

